

《個人山行報告》

早池峰山

日 時 2023年9月25日(月)～27日(水)
参加者 I井 N田 T田
行 程 25日 京都＝大阪空港＝仙台＝北上＝石鳥谷＝早池峰ロッジ峰南荘
26日 ロッジ峰南荘＝小田越登山口～5合目御金蔵～剣ヶ峰分岐～山
頂～5合目御金蔵～小田越登山口＝ロッジ峰南荘
27日 ロッジ峰南荘＝大迫バスセンター(早池峰と賢治の展示館)＝
花巻＝花巻空港＝大阪空港＝京都

25日 晴後曇

出発の3日前に峰南荘から電話あり。早池峰山に登られる26日に山頂の避難小屋修理のため、ヘリコプターが飛ぶので、山頂には行けません、9合目付近までしか行けないとの連絡。そんなこと急に言われても、飛行機はキャンセルできない切符を買っているし、行くしかない。

この時期の早池峰山の交通の便は全く悪い。登山口まで行くバスどころか、山麓のロッジ峰南荘までさえ、行くバスがない。

京都(7:00)からリムジンバスで大阪空港(7:50)へ。そこから仙台(10:40)まで飛行機で行き、仙台から東北新幹線で北上(14:30)へ。さらに東北本線で石鳥谷(15:10)へ。ここから大迫というところまでバスがあるのだが、1日6本しかない。大迫(おおはさま)からは、バスもないのでタクシーを利用するしかない。私たちは、石鳥谷でのバスの待ち時間が長いので、石鳥谷からタクシーでロッジ峰南荘に行くことにする。タクシーに乗ること45分で早池峰ロッジ峰南荘に到着(16:00)。このロッジ峰南荘には、風呂はあるのだが、タオルは持参とのこと。夕食は、明日の登山を考えて、アルコールは少なめに！ 夕食時には、かなり冷え込んだ。

26日 曇一時雨

朝からどんよりとした曇。5時に起床して、朝食のおにぎりを部屋で食べる。ロッジ峰南荘(6:50)からこのロッジの車で小田越登山口(7:15)まで送ってもらう(送迎有料)。登山口に簡易トイレがあり、登山中は、携帯トイレが必要となる。ここに管理人のような人がいて、今日はヘリコプ

ターが来るので、山頂には行けないが、ただ天候がよくないので、もしかしたらヘリコプターが来ないかも知れない、そうであれば、山頂には行けると言ってくれる。トイレをすまして出発（7：20）。最初は木道。樹林帯の道を進む。木道が終わると少し勾配がきつくなる。1合目を過ぎると、樹林帯を抜け出て、大きな蛇紋岩ばかりのごろごろ道。立ったまま登って行く人もあるが、私たちはバランスが悪いのか、手を岩におかないと登れない。2合目を過ぎたあたりから雨が降り出す。カッパを着終わると同時くらいにぎ-っときつく降り出す。これは登頂をあきらめないといけないかなと思わせる雨。それでも30分くらい歩いていると雨が止む。カッパを脱ぐと寒いので着たまま登る。

5合目御金蔵（おかねぐら）到着（9：05）。さらに岩のごろごろ道を登って行くと、岩肌にへばりつくような鉄梯子が出てくる。高さは10mくらい。この鉄梯子を恐る恐る登り終え、最後の登りを過ぎると、山頂近くの稜線にたどり着く。平坦な道を進むと剣ヶ峰との分岐に出る（10：05）。この辺りはハイ松が一面に茂っている。すこし木道があって、やや登りになり、頼りない小さな梯子を登ると山頂避難小屋に到着。幸いヘリコプターは来てなくて、山頂に行ける（10：20）。山頂は一面のガスで眺望はなし。祠があり、十一面観音が祭ってあった。

山頂に15分ほどいて、登ってきた道を降りる。剣ヶ峰分岐（10：50）。鉄梯子まで戻ってきて、その梯子を下りようとするが、強風が吹き荒れていて、怖くて降りられない。10分近く待っていたが、一向に風がおさまらないので、必死に梯子につかまりながら恐る恐る降りる。5合目御金蔵（11：45）、ここで昼食。時折ガスが薄れて下界がうっすらと見える。岩のごろごろ道は、下山の方が登るときよりさらに慎重になる。最後の木道を過ぎて、小田越登山口に帰り着く（13：35）。ロッジ峰南荘の迎えの車はすでに来ていて、トイレをすまして乗り込む。峰南荘到着（14：00）。風呂は16時から入れる決まりだったが、この日は帰ってすぐに入れように準備してくれて、冷えた体を暖めることができた。帰ってしばらくしたら本格的な雨となった。この雨に合わずに帰れて良かった。夕食は登頂を祝って乾杯！

27日曇

朝食（7：30）をすまし、のんびり帰り支度をする。ロッジ峰南荘（9：15）

よりタクシーで大迫バスバスターミナルへ（9：40）。ここで宮沢賢治ゆかりの「早池峰と賢治の展示館」を見学する。この展示館は、早池峰と賢治にかかわる作品紹介、賢治が常宿としていた旧石川旅館の部屋再現、風の又三郎の舞台といわれる猫山のモリブデン鉱石などを展示している。見学後、バスターミナル（11：09）からバスで花巻へ。花巻では、賢治がよく通ったという蕎麦屋「やぶ屋」で昼食。花巻からJRで花巻空港駅へ（14：40）。この駅からバスでいわて花巻空港（15：15）へ。これより一路大阪空港へ（17：30）。空港で夕食をすまし、リムジンバスで京都駅へ（20：30）。無事帰郷した。

（一口感想）

避難小屋の修理とやらで、8合目辺りまでしか登れないということだったが・・・、やれ嬉しや山頂まで行けた。雨あり・風あり・霧が走り・手が冷たくなる中、ひたすら登る！ 下山時は、薄日が差して、遠景が少し見られた。出会いたかったハヤチネウスユキソウにも一輪、言うことなし。滑りやすい蛇紋岩が頭から離れず、三点支持で登り降りする。ツル・ツルとはなったけど、ツルーツはなく、無事下山。でも、登山口まであと少しのところ、オーイ、（登山口の）木道どこ行った～と叫ぶ自分が・・・。緊張が解れた後の感動が二・三日続きました。（^_^）v\!(^_^)／
リベンジしたかった山、出来た～！ ありがとうございます！（N田）



登山口



山頂



乾杯

早池峰と賢治の展示館